

## 単元名 季節の言葉2

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 語句と語句との関係について理解し、語彙を豊かにするとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
- (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
- (3) 季節を表す語彙を豊かにし、意図に応じて言葉を吟味しながら手紙を書こうとする。

## 標準的な展開例

06010116\_001

【教材名】夏のさかり (P. 76～P. 77)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近で感じた「夏」を伝え合う。</p> <p>★季節を感じる言葉を用いて手紙を書こう。</p> <p>○「夏のさかり」という言葉からイメージするものを発表する。</p> <p>○教科書で示されている二十四節気という言葉や解説、短歌や俳句を音読する。</p> <p>○身近で感じた「夏」を伝え合う。</p> <p>2 「夏」を知らせる手紙を書く。</p> <p>○自分の地域で感じた「夏」についての便りを書く。</p> <p>○書いた手紙を友達と読み合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 (P. 76～77) の写真を使い、その言葉へのイメージをもたせる。</li> <li>・五感を働かせて、身近で感じた「夏」を伝え合わせる。</li> <li>・五・七・五の十七音から成ることや季語が入っていることなどを押さえる。</li> <li>・付箋紙に書き出したものを模造紙に貼ってまとめてもよい。</li> <li>・前時に付箋紙等で自分たちの「夏」マップができていれば参考にさせたい。</li> <li>【評】「夏」についての便りを書く活動を通して、意図に応じて使う言葉を吟味しようとする「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」を評価する。</li> <li>【評】「夏」についての便りを書く活動を通して、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にする「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・言葉の選び方や書き表し方など、表現に着目して感想や助言を伝え合わせる。</li> </ul>

【 備 考 】